

ザンビア

主要データ

国名(英名)	ザンビア共和国(Republic of Zambia)
面積(km ²)	752,614
海岸線延長(km)	0(海岸無)
人口(百万人)	11.7(2008年7月推定)
人口密度(人/km ²)	15.5
GDP(百万US\$)	11,160(2007年)
一人当りGDP(US\$)	1,300(2007年)
一人当り銅使用量(kg/人)	約0.51
主要鉱産物: 鉱石(千t)	銅: 544.2
主要鉱産物: 地金(千t)	銅: 522.0、鉛: 0.4、コバルト: 4,425(t)
鉱業管轄官庁	Ministry of Mines & Minerals Development
鉱業関連政府機関	Geological Survey Dept、Ministry of Environment and Natural Resources、Ministry of Commerce, Trade, and Industry
鉱業法	1995年の鉱山・鉱物法(Mine and Mineral Act)
ロイヤルティ	有。2008年4月に鉱産物価格の0.6%から3%へ変更。
外資法	有。(ザンビア開発庁: Zambia Development Agency: ZDA)
環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	「The Environmental protection and Pollution Control Act(環境保護及び汚染管理法。1990年法第12号)」、「The Mines and Minerals (Environmental) Regulations(鉱業・鉱物(環境)規制。1997年)」及び「The Environmental Protection and Pollution Control (Environmental Impact Assessment) Regulations(環境保護・汚染管理(環境影響評価)規則。1997年)」
鉱業公社	N/A
鉱業活動中の民間企業	First Quantum Minerals社(加)、Glencore社(スイス)等
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	特になし
2007年のトピックス	・ロイヤリティの改正のため、鉱山各社と協議を開始した。また、事業税の改正についても検討を始めている。2008年4月にロイヤリティは0.6%から3%に大幅に引き上げられた。

1. 鉱業一般概況

ザンビアの銅生産量は、1969年の748千tをピークに、以降、長期に亘り低迷し、2000年には249千tと約1/3に減少した。しかしながら、2000年以降は、継続的に実施されている大規模銅鉱山の民営化による既存鉱山及び新規鉱山への民間投資効果が次第に現れ、加えて、2003年終りからの銅を始めとするベースメタル価格の上昇により、持続的な銅鉱山生産の拡大に結びついており、2007年には544千tと2000年の2倍を超える急激な伸びを示している。今後も、既存鉱山の再開発や、新規鉱山の開発が計画されていることから、継続的な拡大が予想され、政府は、銅生産量が2008

年に800千t、2010年までに1,000千t規模に拡大すると予測している。

近年の外国資本による鉱業の急激な再生は、外国企業と地元鉱山労働者などとの利益還元を巡る社会的な摩擦を招いている。2006年9月の大統領選挙において、対立候補がこのような鉱山労働者層の支持により大きく躍進したことを踏まえ、再選を果たしたザンビア Mwanawasa 大統領は、鉱山業界における国内世論を沈静化させる狙いとして、ザンビア国民が、大規模鉱山会社の株式取得に参加できる機会を創出することや、現行の外国企業を優遇している鉱業関連税率の引上げなどの方針を打ち出した。これを

受けて 2007 年にはロイヤルティの改正(0.6%→3%)について鉱山各社との交渉を始めた。また、事業税についても 30%から 35%への改正の検討を始めている。なお、ロイヤルティは、2008 年 4 月に 0.6%から 3%に変更されている。

2. 鉱業政策の主な動き

外国企業による利益還元を巡る社会的な摩擦を受けた鉱業政策転換の一環としてロイヤルティは、2008 年 4 月に 0.6%から 3%に変更されている。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要非鉄金属鉱石生産量

表 3-1. ザンビアの金属鉱石生産量

(単位：千 t)

鉱種	2006 年	2007 年	増減率(%)
銅	515.6	544.2	5.5

出典：World Metal Statistics 2008

(2) 主要非鉄金属地金生産量

表 3-2. ザンビアの金属地金生産量

(単位：千 t)

鉱種	2006 年	2007 年	増減率(%)
銅	497.2	522.0	5.0
鉛	0.4	0.4	0.0
コバルト(t)	4,556.0	4,425.0	-2.9

出典：World Metal Statistics 2008

(3) 主要非鉄金属消費量

表 3-3. ザンビアの金属地金消費量

(単位：千 t)

鉱種	2006 年	2007 年	増減率(%)
銅	21.0	21.6	2.9
鉛	0.9	0.9	0.0

出典：World Metal Statistics 2008

(4) 主要非鉄金属輸出生量

表 3-4. ザンビアの金属精鉱/地金輸出生量

(単位：千 t)

鉱種	2006 年	2007 年	増減率(%)	主な輸出相手国
銅地金	476.1	490.9	3.1	スイス、中国

出典：World Metal Statistics 2008

(5) 主要非鉄金属輸入量

該当なし

(6) 日本への輸出

表 3-5. ザンビアの日本への精鉱/地金輸出生量

(単位：t)

鉱種	2006 年	2007 年	増減率(%)
コバルト地金	1,165	988	-15.2

(出典：貿易月表(2007.12)等)

4. 鉱山及び鉱山会社の活動状況

鉱山生産状況

(単位：千 t)

鉱山名	鉱種	権益 (%)	2006年 (生産量)	2007年 (生産量)	備考
Chambishi 銅鉱山	銅	China Nonferrous Metals 85%、 ZCCM 15%	23.0	24.0	
	コバルト		3.0	2.6	
Chibuluma South 鉱山	銅	Metorex 100%	8.0	10.8	
Kansanshi 銅鉱山	銅	First Quantum Minelals 80% ZCCM 20%	127.2	163.8	
	金		1.0	1.3	(単位:t)
Konkola 銅コバルト鉱山	銅	Vedanta Resources 51% Zambia Copper Investment 28.4% ZCCM 20.6%	99.2	84.0	
Mufulira 銅鉱山	銅	Glencore International 73.1% First Quantum Minelals 16.9% ZCCM 10%	70.0	60.0	
Nchanga 銅鉱山	銅	Vedanta Resources 51% Zambia Copper Investment 28.4% ZCCM 20.6%	80.0	80.0	
Nkana 銅コバルト鉱山	銅	Glencore International 73.1%、First Quantum Minelals 16.9%、 ZCCM 10%	60.0	60.0	
	コバルト		2.0	N/A	

出典：Metal Economics Internet Services、Raw Material Data

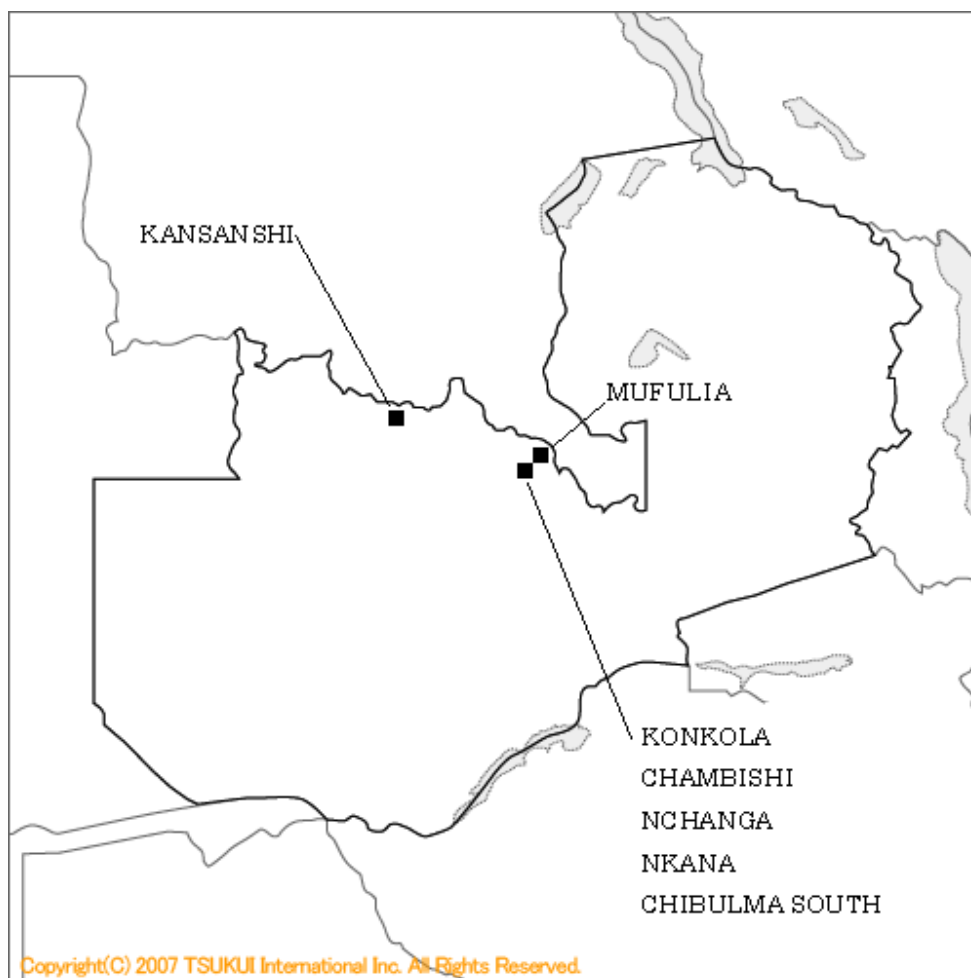
製錬・精錬所生産状況

(単位：千 t)

製錬・精錬所名	生産鉱種	2006年 (生産量)	2007年 (生産量)	備考
Mufulira 銅製錬所	銅	150.0	140.0	
Nkana 銅製錬所	銅	120.0	120.0	
Bwana Mukubwa 銅鉱山	銅	51.1	25.4	SXEW
Chambishi コバルト精錬所	銅	25.0	25.0	
	コバルト	3.2	2.6	
Kansanshi 銅(SXEW)鉱山	銅	73.7	90.0	
Mufulira 銅精錬所	銅	170.0	170.0	
Mufulira SXEW 銅プラント	銅	15.0	15.0	
Nchanga 銅(Tailing Leach)鉱山	銅	54.0	55.0	
Nkana 銅精錬所	銅	101.0	100.0	
Nkana コバルト精錬所	コバルト	1.4	1.8	

出典：Raw Material Data

主要鉱山位置図



5. 我が国との関係

特になし。

6. その他のトピックス

特になし。

(2008. 8. 28/ロンドン事務所 竹谷 正彦)